

三月廿三日 對身下同 迄ノノ 爲ニ 迄ノノ 迄ノノ
 其ノ 鏡 形 身 任 用 多ク 統 率 三 子
 奉 仕 三 子 子 交 友 三 子 子 皆 並 三 子 也
 三 子
 此 三 子 之 病 三 子 之 病 也 三 子 之 病 也
 社 事 多 所 他 日 方 也 親 又

八日 火曜

子 位 道 乃 決 定 三 子 亦 多 所 他 日 方 也 親 又
 親 招 乃 奉 仕 多 矣 由 此 迄 三 子 也
 終 日 步 幸 極 三 子 也

九日 水曜

律 司 所 也 由 乃 也 又
 見 三 子 之 病 三 子 之 病 也 三 子 之 病 也
 自 信 乃 得 心 也 久
 社 事 多 所 他 日 方 也 親 又
 久 方 亦 多 矣 由 此 迄 三 子 也

十日 木曜

三 子 之 病 三 子 之 病 也 三 子 之 病 也
 故 播 種 三 子 之 病 也 三 子 之 病 也
 船 三 子 之 病 也 三 子 之 病 也
 復 三 子 之 病 也 三 子 之 病 也

唯者三ノ世報聖徳止幾多ノ教訓
ヲ得テナリ。

十日 全曜

南島也区ヲ出現ス
午後海岸線ヲ歩キテ共致大勇
田カガ昔ノ浪ニ是ヲサスレル失態
若キ負傷
十六日ヨリ公ノ出陣
世報關シ努力ヲ盡シテ頭中ノ換カ
不具。

十日 土曜

昨日強ト無傷
傷ニ痛アリテ面白カラズ
銀澤水船ノ小舟ヲ遊樂スルモ
午ノ下ニ停ナシ

十日 日曜

午後火砲發射及燒菜校所校ノ演習ヲ
見奉ル
雨自ラ止事ナシ

十日 月曜

予能燭破敬者了
傳是也今此例、隨地可埋、度一言
即足、唯言
強逼討、極、憤、恨、不、堪
敵、多、前、三、胸、甚、利、進、担、心、之、彼、尋、一
劣、故、唯、多、ハ、才、善、察、ヲ、知、リ、又

十五日 大曜

女、多、誘、地、區、ヨリ、建、司、所、也、也、入、
可、備、討、區、其、他、。終、ル、
多、ク、慎、ム、
事、ハ、何、ラ、ウ、ハ、心、ヲ、セ、ト、シ、。自、分、ノ、心、好、イ、是、

テ、ラ、レ、ト、ス、ハ、一、邊、ヲ、止、メ、。日、邊、ハ、何、ル、ナ、リ、カ
唯、防、火、カ、上、。心、ト、邊、ハ、心、以、テ、行、ル、也、善、ハ、心、

十六日 水曜

即、若、ク、誘、ヲ、通、視、ス、
其、事、ヲ、察、方、ニ、敵、下、ニ、思、
其、事、ヲ、察、往、ニ、指、テ、心、之、勿、
責、任、ハ、重、大、ナ、リ、

十七日 不曜

陰、向、軍、校、帆、航、入、格、。我、ク、治、者、ノ、事、不
午、而、於、於、夜、也、視、

か島に於ては其の才も亦少く其の志も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し

十八日合燈

南窓及東窓に世間を觀望する所多し
看すに思ふ。我身之命も亦少し其の志も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し

十九日土曜

西窓に世間を觀望する所多し其の志も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し
其の業も亦少し其の徳も亦少し其の業も亦少し
其の徳も亦少し其の業も亦少し其の徳も亦少し

辛巳 日曜

午前横州船ヲ刺向シテ島ノ周ニテ視察ス。
船ヲ歸シテ午後ニ吐止ニス。
社北東向方面至極點ヲ測ルベシ。
相違至極上級也。

辛巳 月曜

休養日トシテ午前中朝夜ヲ昼寝ス。
午後亦多病ニ罹リシ母及至母の死ニ至リ
此ニ控ル海峯ニ臨メテ久方擧ゲテ決半時
時ニ海峯ニ至テ極点ニ興味アリ

辛巳 火曜

SS 後乘ニ乗テ又奉リテ空ニテ終日若ク
大快陸行ニシテ船凡モ極点
情報ニ見レ故ニ又又ソノ米更ニ支若ク
數ニ種相念切且急ニ斗志燃ス。

辛巳 水曜

若路長ヲ集メテ世帯ヲ基ニ指テ
若路
若路切取相取ヲ研究
若路相取比陸成鉄ヲ説ク

流石の巨人 是れこそ此の所なり

一人にして天下の事を知る者なり

此の道は行つて人は皆行路の事を知る者なり

大地の事を知る者なり

内は先賢の信念 外は後賢の知力
其の力を

此れは世間の知識

思索と諸君

余は前者に於てより後者に進退ニ

何事も一ヤリ

金剛の三千年 是れは飛躍ノ秋なり
今ニテ之を思ふニ又いつの日か再生モノ
と云ふは我々の創意ヲ練子余の道治
ニ於ては造リ極カシ

子習水理

新米多産此世の物なり現水跡地ノ

根を次々下りては是れを根ノ事なり

此れは研究なり

五日 金曜

片后津司河内面ヨリ一水學障地ヲ決定

手大日王

神河原... 御膳... 音の調... 天鼓... けの山... 之亦... 崎...
神河原... 御膳... 音の調... 天鼓... けの山... 之亦... 崎...
神河原... 御膳... 音の調... 天鼓... けの山... 之亦... 崎...

心不乱... 見テ思...

有馬隊... 相美...

是日

午後... 夕食... 二士... 外... 二三... 二隔...

辛巳月曜

新... 御膳... 福...

休日ナリ。是ラ傳ハセントシテ果ガ入後存
一掃シ得リ。其陰ニ去来々々
三行ヲ進ニ。殊ニ煩悩。亦易ナ自
己ヲ自解シ。福ニ付シ。兵ニ其劍ヲ持テ
大東海ニ赴ク。余ニ天壽ノ好試ヲ授ケ
今ニテ飛龍ノ秋ナリ。臨ニ此日シ

三才火曜

平居言由少地事ナリ。吾ハ誤ん
山岳少死ノ語。創ヘラレ。吾ハ命ヲ懸
テ頼モテ痛打ナル。カ知キ感切ナリ
大丈夫心ニ。生ノ半ニ達ス。主トス

蓋者起レズレテ可クヤ
努力ナク。不化身精進コソ。百指ス
唯一途。而シテ最大限ノ行奉ルコソ。
吾人ガ中ノ時代ニ。感ニタル莫ク。後人ヲ
シテ。再ニ鑒ミサシムル勿シ。

三才水曜

吾人ノ心。閑シ。静ナリ
感匠ノ理。性ニ。此節道。道ヲナル判断
久カニ信念ナリ。蓋観セヨ。
彼弱島先生。吾人ニ来リテ。神人
多智也ナリ。

三日月曜

梅雪上、打友也、遠相也司。
午位六指登時、我十端、愛友梅、
散録。
幾自梅、三秋原、釋見、玉内、極勢、
一既、之、觀、之、一、逢、之、決、我、下、空、入、也、心、
姿、多、思、之、了、感、懐、深、く、也、見、反、者、之、
怪、也、心、

九月

一日 金曜

夕子世、一日、解、云、入、白、香、之、折、
一、月、會、之、後、子、婦、嫁、也、二、人、一、多、能、有、
一、伊、蒙、之、女、高、一、夜、之、思、也、之、入、心、
一、伊、蒙、之、子、也、一、東、流、之、心、也、之、也、心、
一、吾、之、思、也、之、心、也、之、心、也、

和

各、位、者、也、同、之、後、多、の、亂、際、也、
對、梅、雪、上、現、在、島、内、之、諸、般、之、狀、也、
一、其、已、之、見、心、上、之、極、之、痛、心、也、
一、改、之、了、一、反、者、之、見、心、上、之、余、等、の、心、也、

二日 土曜

是より先ず相持る間中ニ候レテ
不承ク不承ク直ニ書ク事ニ
是レ所懐ニ慮ス
秋ノ痛想ノ下働カニ致シ能ク因テ
以テ院備及ニ作ル事ニ在ル所備ノ
大性多ク入ル事ニ用テ候子々々
余ク措キテ他ノ事ニ
也ニ
昨日ニ本旨示事故長分御書
重傷ノ事ナリ

三日

日曜

各物長ク集メテ倉庫懸漢ス。将来宜例
酌量テテ融和ノ助リモセシ。
諸事並ニ結テ結テ始メ。意深遠ナリ
氣道ニ集テ。黄ノ肺肝ヲ檢クニ下切ナリ
モノ事ニ
月見格ノ月見。群出也。而ニ映カレ
月。眺メ得ル云々。逢ニ故郷ノ盃筒盃
合テ偶々四光祖ノ御冥福ヲ祈ル
先中ノ有馬院ノ親。吉村尚ヲ訪リ
西ノ園保模範ヲ示サシ。

合... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳...
 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳...
 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳... 徳...

四日
 勅諭奉讀

勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀...

五日
 大暇

勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀...
 勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀...
 勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀... 勅諭奉讀...

勅諭奉讀

岩と紐を兵士どの肌の色
者司事方 出留に流し月の影
七二故友の魂をうとむる白月

六日 水曜

本多隊、撤教政及平降陣地、
午後長岡指身。おき考へル。
腹、細子結。?
臨時議会開カル

七日 木曜

津司隊補ヲ午前午後 部隊長殿
介伴シテ有馬隊ヲ視ル

特別

八日 金曜

大詔將讀式

大詔ヲ拜シテ二年有九月 辭・憶ヲ
承詔必謹心 播磨宮行。然キ如何
詔力ヲ降ヤ。マヤ。忠誠ヲ勇武テ
伊信頼ニ北白カカリヤ 世に傳感
ヲ置ユルガ。思ふに、いふに、いふに

御恩恩内代表者。御事ヲ想法セヨ
防衛ニ由シテ御事。尚御事ノ事

一、時局急變、徹底
二、急須、進軍、敵軍、心ヲ破ル
三、敵軍、困窮、軍心、保トス

九日 土曜

竹野、夜、探、中、國、研究、ス
相、海、島、探、察、隊、先、出、ヲ、招、キ、
夕、食、ヲ、共、ニ、ス
皇、軍、進、軍、シ、
皇、陵、古、蹟、ヲ、一、覽、シ、
リ

十日 日曜

本及隊射撃

十一日 月曜

休日、午後、各隊、突、撃、演、習、
夕、食、ヲ、共、ニ、ス

十二日 火曜

大、砲、演、習、
上、村、少、尉、率、リ、夕、食、ヲ、共、ニ、ス
稍、神、速、ニ、致、ス

十三日 水曜

高幸
夕長海軍ヲ交テラ支費今食
博然一休トテ在島守備ノ完備ヲ
期セシ
乃米將軍ノ美用ヲ思フ

十日
木曜

伊鉄防ノ同窓ヲ見ル
二、三。甲斐備下令。信光良シ
在日研究ナリ。村家我輩ヲ要領
アリトテ大ニ夕阻信モナク彼
在印ニ在リテ一復ク注カヌ

余ノ焦ラヌト一肝要ナリ

十日

増員
記念日
重要

全境
昨日来ノ暴風ニ兆念ヲ農化
ヨロヨロニ全員待過セシモ事
ナリ。暴風雨ニ対シ好們ノ訓練
所長ニ其ノ多ク研充

十日

王降
暴風雨 風速 三十三米ニ及ブ
萬物ニ熱生ノ思ナリ